

U/Cサーバ
注意事項とよくあるお問い合わせ

株式会社 広告EDIセンター

注意事項

- 本資料を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本資料は、予告なしに変更する場合があります。
- 本資料の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2013/12/27	新規作成
2	2017/08/30	システム名称変更
3	2021/06/30	U/C 5系の記述削除 よくある問い合わせを追加
4	2021/11/12	よくある問い合わせを追加

1.	はじめに	5
1.1.	名称について.....	5
2.	U/Cサーバ 10系利用時の注意事項	6
2.1.	U/Cサーバ 10系におけるデータ変換について.....	6
2.2.	Windowsのログオフについて.....	9
2.3.	送信メールサーバについて.....	9
3.	よくあるお問い合わせ	10
3.1.	U/Cサーバの起動・停止に関するお問い合わせ.....	10
3.2.	U/Cサーババージョンアップに関するお問い合わせ.....	15
3.3.	その他のお問い合わせ.....	17

1.はじめに

本書は、U/Cサーバをご利用頂くうえでの注意事項と、お客様より多く頂くお問い合わせについて記述したものです。

1.1. 名称について

本書において使用する名称は以下の通りです。

- U/Cサーバ 10系
U/Cサーバ 10.0.0以降のU/Cサーバを指します。
- UCS_HOME
U/Cサーバをインストールしたフォルダを指します。例えば、U/Cサーバのインストールフォルダを「C:¥Adedi」とした場合、UCS_HOMEはC:¥Adediとなります。

2.U/Cサーバ 10系利用時の注意事項

U/Cサーバ 10系をご利用頂くうえで、お客様には何点かご注意頂く事項がございます。以下章より説明しております注意事項を必ずご確認くださいませう、お願い致します。

2.1.U/Cサーバ 10系におけるデータ変換について

2.1.1.データ変換の概要

U/Cサーバ 10系では固定長(CIIフォーマット変換前)フォーマットを使用してデータ交換を行います。

広告取引EDIシステム内におけるフォーマット変換処理は、**定義に対するチェックが厳密に行われます**。そのため、使用するデータに注意が必要となります。

U/Cサーバ 10系をご利用頂く場合のデータ内容に関する注意事項に関しましては、「2.1.2.各属性における定義の概要および注意事項」をご参照ください。

2.1.2.各属性における定義の概要および注意事項

広告取引EDI標準メッセージ集で定義されている、各項目の属性の概要と、各属性におけるU/Cサーバ 10系での注意事項を以下の通り説明します。広告取引EDI標準メッセージ集をご参照のうえ、ご確認ください。

【文字データ : (X属性)】

- 定義内容
 - X属性には、漢字を含まない半角英数の文字列を指定することが可能です。
- 注意事項
 - ✓ X属性の項目に全角文字が含まれていた場合、送信できません。
 - ✓ X属性の項目に全角空白が含まれていた場合、送信できません。

表 2-1 データパターンの例と処理結果(□は全角空白、^は半角空白を表す)

データパターン	例	処理結果
半角空白のみ	~~~~~	○
半角文字のみ	aaaaaa	○
前方に半角空白、後方に半角文字	^aaaa	○
前方に半角文字、後方に半角空白	aaaa^	○
半角空白と半角文字混在	aa^aa	○
半角数値のみ	9.9999	○
全角空白のみ	□□□	×
全角文字のみ	あああ	×
前方に全角空白、後方に全角文字	□ああ	×
前方に全角文字、後方に全角空白	ああ□	×
全角空白と全角文字混在	あ□あ	×
前方に全角空白、後方に半角文字	□aaaa	×
前方に半角文字、後方に全角空白	aaaa□	×
全角空白と半角文字混在	aa□aa	×
前方に半角空白、後方に全角文字	^ああ	×
前方に全角文字、後方に半角空白	ああ^	×
半角空白と全角文字混在	あ^あ	×

【文字データ(日本語) : (K属性)】

- 定義内容
 - K属性には、漢字を含めた全角文字列を指定することが可能です。
- 注意事項
 - ✓ K属性の項目に半角文字が含まれていた場合、送信できません。
 - ✓ K属性の項目に半角空白が含まれていた場合、送信できません。

表 2-2 データパターンの例と処理結果

データパターン	例	処理結果
全角空白のみ	□□□	○
全角文字のみ	あああ	○
前方に全角空白、後方に全角文字	□ああ	○
前方に全角文字、後方に全角空白	ああ□	○
全角空白と全角文字混在	あ□あ	○
前方に全角空白、後方に半角文字	□aaaa	×
前方に半角文字、後方に全角空白	aaaa□	×
全角空白と半角文字混在	aa□aa	×
半角空白のみ	~~~~~	×
半角文字のみ	aaaaaa	×
前方に半角空白、後方に全角文字	^ああ	×
前方に全角文字、後方に半角空白	ああ^	×
半角空白と全角文字混在	あ^あ	×
前方に半角空白、後方に半角文字	^aaaa	×
前方に半角文字、後方に半角空白	aaaa^	×
半角空白と半角文字混在	aa^aa	×
半角数値のみ	9.9999	×

【浮動小数点数 : (N属性)】

- 定義内容
N属性には、数値・小数点・符号を使用することが可能です。
- 注意事項
 - ✓ 正負符号を使用する際に符号が数値の先頭でない場合、送信できません。

表 2-3 データパターンの例と処理結果

データパターン	例	処理結果
符号が数値の先頭	-123456 +123456	○
数値のみ	123456	○
符号が数値の間に付与	123-456	×
符号が数値の後方に付与	123456-	×
符号が数値の間、数値の後方に付与	123-456-	×
符号が数値の先頭、数値の間に付与	-123-456	×
符号が数値の先頭と後方に付与	-123456-	×
小数点と符号が数値の先頭に付与	.-123456	×
小数点と符号が数値の後方に付与	12345.-	×
符号と小数点が混在	12-3456. 1.-234	×

【固定小数点数 : (9属性)】

- 定義内容
9属性には、数値を使用することが可能です。
- 注意事項
なし

2.2.Windowsのログオフについて

※ 本注意事項に関しては、「UCController」、「ScheduleController」を手動で起動・停止しているお客様のみ対象となります。

「UCController」、「ScheduleController」の起動・停止を手動にて実施頂いている場合、Windowsをログオフしてしまいますと、「UCController」、「ScheduleController」も停止してしまい、登録済みの送受信スケジュールは起動せず、次回以降U/Cサーバは正常に起動できなくなってしまいます。

手動にて「UCController」、「ScheduleController」を起動・停止しているお客様は、Windowsのログオフの実施はお控え頂きますようお願い致します。

お客様環境にて定められている運用の内容上、サーバの画面を長時間開いた状態にしておくことが難しいということであれば、画面ロックを実施頂けるよう、お願い致します。

2.3.送信メールサーバについて

U/Cサーバ 10系では、メール通知機能をご利用頂けますが、以下2点につきましては現在対応しておりませんので、ご注意ください。

- SSLを利用したメールの送信
- ユーザ認証を利用したメールの送信

3.よくあるお問い合わせ

本章では、お客様より多く頂く「U/Cサーバが起動しない」、「操作中にエラーが発生する」等のお問い合わせに対して、確認頂く内容と対応方法を説明します。

3.1.U/Cサーバの起動・停止に関するお問い合わせ

U/Cサーバの起動・停止に関するよくあるお問い合わせの対応方法を説明します。

「UCController」および「ScheduleController」の起動・停止方法が自動か手動かによって、確認頂く内容と対応方法が異なります。そのため、お客様にてご利用頂いているU/Cサーバ 10系が自動で起動/停止しているのか、手動で起動/停止しているのかをご確認のうえ、以降の章をご参照ください。

- 「UCController」、「ScheduleController」をローカルグループポリシーより**自動**で起動/停止しているお客様は、以下章をご参照ください

3.1.1. U/Cサーバ 10系を自動で起動/停止しているお客様

- 「UCController」、「ScheduleController」を**手動**で起動/停止しているお客様は、以下章をご参照ください

3.1.2. U/Cサーバ 10系を手動で起動/停止しているお客様

3.1.1.U/Cサーバ 10系を自動で起動/停止しているお客様

事象	対応方法
画面操作中に、「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行できない	「Q1.TaskManager・SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない」をご確認ください。
OS再起動後にスケジュール送信、または受信ができない	「Q2.OS再起動後にスケジュール送信または受信が起動されない」をご確認ください。

Q1. TaskManager・SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない

A1. 「UCController」、「ScheduleController」は起動していますか？

以下手順でコマンドを実行頂き、現在の「UCController」、「ScheduleController」の起動状況をご確認ください。

1. コマンドプロンプトを開く
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

2. 以下コマンドを実行

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat status
```

3. コマンド実行後の結果を確認

➤ 「停止済み」と表示された場合

```
UCController      は停止済みです。
ScheduleController は停止済みです。
```

コマンド実行後、「停止済みです。」と表示された場合は「UCController」、「ScheduleController」が停止しています。OSを再起動し、「UCController」、「ScheduleController」を自動的に起動してください。

➤ 「起動済み」と表示された場合

```
UCController      は起動済みです。
ScheduleController は起動済みです。
```

コマンド実行後、「起動済みです。」と表示された場合はU/Cサーバは正常に起動しておらず、送受信スケジュールも正常に起動していない可能性があります。サポートデスクまでお問い合わせください。

Q2. OS再起動後にスケジュール送信または受信が起動されない

A2. ローカルグループポリシーへの自動起動・停止設定を行っていますか？

ローカルグループポリシーへの、「UCController」、「ScheduleController」自動起動・停止設定が行われているか、以下手順で確認してください。

1. コマンドプロンプトを開く
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

2. 以下コマンドを実行

```
UCS_HOME¥operation¥init¥group_policy.bat
```

3. 「コンピュータの構成」>「Windows の設定」>「名前解決ポリシー」>「スクリプト(スタートアップ/シャットダウン)」を選択

4. 「スタートアップ」をダブルクリックし、以下内容で登録されているか確認

名前	UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat
パラメータ	startup

5. 「シャットダウン」をダブルクリックし、以下内容で登録されているか確認

名前	UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat
パラメータ	shutdown

6. 4、5を確認した結果、「スタートアップ」及び「シャットダウン」の設定が行われていなければ、設定を追加し、OS再起動を実施してください。

4、5を確認した結果、設定が正しく行われていた場合は、ローカルグループポリシーに設定した自動起動・停止処理が正常に起動していない可能性があります。以下3点を取得頂き、お手数ですがサポートデスクまで送付してください。

- ローカルグループポリシーの設定状況
 1. コマンドプロンプトを開く
 2. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」
 3. コマンドプロンプト上で、以下コマンドを実行し、出力されたファイルを取得
gresult /V > [出力先ファイル名(任意)]
- Windowsのイベントログ(アプリケーション/システム)
- U/Cサーバ 10系の以下ログ
UCS_HOME¥Logs¥ucs-core.log
UCS_HOME¥Logs¥ucs-ui-server.log

3.1.2.U/Cサーバ 10系を手動で起動/停止しているお客様

事象	対応方法
画面操作中に、「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行できない	「Q1.TaskManager,SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない」をご確認ください。
U/Cサーバ起動・停止時のコマンド実行で「アクセスが拒否されました。」というエラーが発生する	「Q2.U/Cサーバ起動/停止時のコマンド実行で「アクセスが拒否されました。」というエラーが発生する」をご確認ください。

Q1. TaskManager,SystemManagerの操作中に「処理の起動に失敗しました(11)」と表示され処理続行ができない

A1. 「UCController」、「ScheduleController」は起動していますか？

以下手順でコマンドを実行頂き、現在のU/Cサーバの起動状況をご確認ください。

1. コマンドプロンプトを開く
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

2. 以下コマンドを実行

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat status
```

3. コマンド実行後の結果を確認

➤ 「停止済み」と表示された場合

```
UCController      は停止済みです。
ScheduleController は停止済みです。
```

コマンド実行後、「停止済みです。」と表示された場合はU/Cサーバが停止しています。以下手順でU/Cサーバの手動起動の実施をお願い致します。

- ① 以下起動コマンドを実行

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat startup
```

- ② 起動されたことを、確認コマンドを実行し、以下の通り出力されることを確認

```
UCS_HOME¥UcsProgram¥bin¥ucs.bat status

UCController      は起動済みです。
ScheduleController は起動済みです。
```

➤ 「起動済み」と表示された場合

```
UCController      は起動済みです。
ScheduleController は起動済みです。
```

コマンド実行後、「起動済み」と表示された場合はU/Cサーバは正常に起動しておらず、送受信スケジュールも正常に起動していない可能性があります。サポートデスクまでお問い合わせください。

Q2. U/Cサーバ起動/停止時のコマンド実行で「アクセスが拒否されました。」というエラーが発生する

以下、エラー発生時に出力されるエラーメッセージの例です。

```
<UCS_HOME>%UcsProgram%bin>ucs.bat shutdown  
log4j:ERROR setFile(null,true) call failed.  
java.io.FileNotFoundException: logs%ucs-command.log (アクセスが拒否されました。)
```

A2. コマンド実行時のユーザは、U/Cサーバ 10系インストール時と同一ユーザですか？

U/Cサーバ起動・停止コマンドを実行する際のユーザに、コマンドを実行するためのアクセス権限が不足している可能性があります。コマンド実行時のユーザがU/Cサーバ 10系をインストールした時と同一ユーザであることを確認してください。

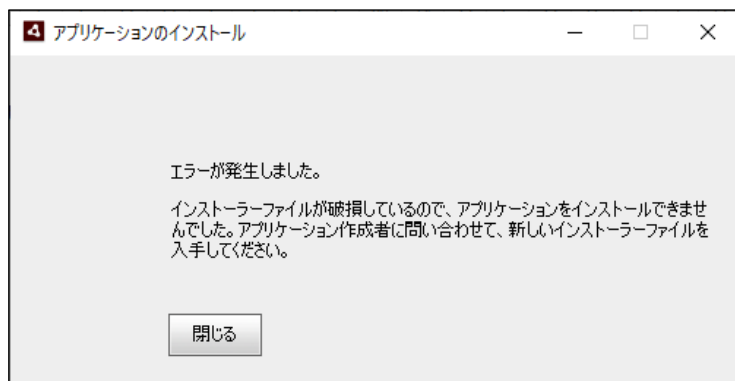
3.2. U/Cサーババージョンアップに関するお問い合わせ

Q1. U/Cサーバのバージョンアップ中に「インストーラファイルが破損している」というエラーが発生した

A1. Adobe AIR ランタイムを最新バージョンへ更新してください。

現在ご利用のWindowsサーバ上でU/Cバージョンアップを行い、以下画面キャプチャと同様のエラーメッセージが表示された場合、「閉じる」ボタンを押下してバージョンアップ処理を中断してください。

その後、Adobe AIR ランタイムを最新バージョンへ更新し、U/Cサーバのインストーラを再度実行してください。



※ Adobe AIR ランタイムはHARMAN社から無償配布されています。下記URLより最新版をダウンロードし、インストールしてください。

<https://airsdk.harman.com/runtime>

Q2. U/Cサーバのバージョンアップ中にQ1以外のエラーが発生した

A2. エラーの状況を確認のうえ、リカバリ作業の実施をお願い致します。

現在ご利用のWindowsサーバ上でU/Cバージョンアップを行いエラーが発生した場合、

以下手順でU/Cサーバの状況確認、またリカバリ作業の実施をお願い致します。

1. 調査情報の取得

調査情報の取得をお願い致します。

※ 問題なくリカバリ作業が行えた場合には、収集いただいた調査情報は破棄いただいて構いません。

① ログの取得

以下フォルダ配下のファイルを全て取得してください。

- ・ UCS_HOME¥operation¥Storage_X.X.X¥logsフォルダ¹

② 完了ファイルの取得

以下フォルダ配下のファイルを全て取得してください。

- ・ UCS_HOME¥operation¥Storage_X.X.X¥endフォルダ

¹ U/Cサーバ10.4.0へバージョンアップを行っている場合、「Storage_X.X.X」は「Storage_10.4.0」へ読み替えてください。他のバージョンへバージョンアップしている場合も同様です。

- ③ 各種フォルダやファイルの存在状況の確認
以下フォルダやファイルの存在有無を確認してください。
- ・ UCS_HOME¥operation¥init¥application¥SystemManager.exe
 - ・ UCS_HOME¥operation¥init¥application¥TaskManager.exe
 - ・ UCS_HOME¥UcsProgram¥binフォルダ
 - ・ UCS_HOME¥UcsProgram¥libフォルダ
 - ・ UCS_HOME¥UcsProgram¥conf¥ucs-common.properties
 - ・ UCS_HOME¥UcsProgram¥conf¥template¥Mail_Template
 - ・ UCS_HOME¥UcsProgram¥tomcat¥webapps¥ucs-ui-serverフォルダ
 - ・ UCS_HOME¥UcsProgram¥tomcat¥webapps¥ucs-ui-server.war
 - ・ UCS_HOME¥UcsProgram¥version.txt

2. リカバリ実施の有無を確認

以下の条件を全て満たしている場合には、「3.リカバリ作業の実施」へ進んでください。

～条件～

- ・ 「1.調査情報の取得」で取得したログファイル「error.log」に以下どちらかのメッセージが出力されている
 - 「現行バージョンのバージョン番号が取得できませんでした。」
 - 「～～の削除に失敗しました。」
- ・ 「1.調査情報の取得」で取得した完了ファイルが「1_backup.end」のみであり、他にファイルが存在していない
- ・ 「1.調査情報の取得」で確認した各種フォルダやファイルの存在状況より、対象のフォルダ・ファイルが全て揃っていないことを確認している

上記の条件を満たしていない場合、「1.調査情報の取得」で取得したログファイル、各種フォルダやファイルの存在状況の確認結果をサポートデスクまでご連絡ください。

状況確認、原因調査を行ったのち、対処方法についてご案内致します。

3. リカバリ作業の実施

以下の手順に従ってリカバリ作業を実施してください。

① サービスの停止

はじめに、U/Cサーバに関連するサービスを停止します。停止するサービスは以下の通りです。

- ・ UcsLog
- ・ UIServer

② U/Cサーバ関連フォルダやファイルの削除

「1.調査情報の取得」の「各種フォルダやファイルの存在状況の確認」にて存在していることを確認できたフォルダ・ファイルは手動で削除してください。

削除対象のフォルダ、ファイルを別のプロセスが開いていたら削除することができません。削除できない場合にはそのプロセス停止した後に削除を行ってください。

- 例1 「UCS_HOME¥operation¥init¥application¥SystemManager.exe」が存在している場合
⇒ 「SystemManager.exe」ファイルを削除してください。

- 例2 「UCS_HOME¥UcsProgram¥binフォルダ」が存在している
⇒ 「binフォルダ」を削除してください(binフォルダ配下のファイルも全て削除)。

③ 「version.txt」ファイルの配置

「UCS_HOME¥operation¥Storage_X.X.X¥backup¥UcsProgram¥version.txt」を「UCS_HOME¥UcsProgram」フォルダ配下へコピーしてください。

④ インストーラ実行

インストーラを実行してください。バージョンアップ処理が再実行されます。

3.3. その他のお問い合わせ

Q3. 本日、非営業日になっていたためスケジュールが起動していない

A3. タスクマネージャの休日設定より営業日を切り替えてください。

オペレーションマニュアル「4.4.4. 休日の営業日、非営業日を切り替えるには」を参考に、非営業日から営業日へ切り替えてください。切り替え後、登録しているスケジュールが展開されます。

※ TaskManagerのスケジューラが起動していることもご確認ください。スケジューラが起動していないと、上記の通り切り替え操作を行っても展開されたスケジュールは起動致しません。